

被災直後の応急作業【土砂流入による河川埋塞土砂除去作業】

河川埋塞土砂除去作業

地震による斜面崩壊のため、河川に大量の崩落土が流入し、河道が埋塞。
特に厚真川幌内地区においては、約12万m³の土砂が流入したため、北海道開発局や室蘭建設業協会のご協力により、バックホー約80台で埋塞土砂の除去作業を行い、約1週間で作業を完了。



被災直後の応急作業【仮設道路の設置】

上幌内早来停車場線（厚真町吉野地区）

仮設道路の設置

厚真町吉野地区では約1 kmにわたる斜面崩壊により、道路が押し流された。道路啓開作業は、道路路面を探しながら行った。仮設道路は、啓開作業をしたルート上に設置し、早期に交通の確保をはかった。



仮設道路の設置

厚真町富里地区では約700mにわたる斜面崩壊により、道路が押し流された。仮設道路は、啓開作業をしたルート上に設置し、早期に交通の確保をはかった。



本復旧工事

応急作業後、随時本復旧工事を実施。



本復旧工事

応急作業後、随時本復旧工事を実施。



本復旧工事

応急作業後、随時本復旧工事を実施。

上幌内早来停車場線
富里地区

被災時

2018. 9月

応急工事完了

2018. 11月

被災前の形状での復旧とはせず、交付金事業との合併施工により改良復旧を実施（急勾配・急カーブ及び変則的交差点を是正）
【施工中】

被災前（空撮）

変則的な交差点形状

急カーブ・急勾配で視距が悪い

2020. 7月